

令和7年度当初予算などを審査しました

予算決算委員会では、補正予算2件（一般会計1件、企業会計1件）、当初予算12件（一般会計1件、特別会計8件、企業会計3件）が提出され、5日間にわたり審査を行い、すべて原案どおり可決しました。

ここでは、一般会計当初予算の主な内容や予算決算委員会での質疑の内容を紹介します。

令和7年度当初予算額

一般会計 586億6,954万4千円
(前年比 28億2,154万4千円増)

特別会計 249億101万円
(前年比 5億9,857万2千円減)

合 計 835億7,055万4千円
(前年比 22億2,297万2千円増)

※企業会計（病院事業、水道事業、下水道事業）を除く。



予防接種事業 2億6,789万2千円

定期接種の実施や任意接種の助成を行い、健康の保持・増進及び保護者の経済的負担の軽減を図る。

問 带状疱疹ワクチンの予防接種が定期接種へ変更となるが、今後はどのような扱いになるか。

答 令和7年4月1日からは65歳以上の方等を対象に定期接種とすることになるが、周知期間が不足するため、6月までは、50歳以上が対象となる任意予防接種への助成事業も継続する。2回接種が必要な不活化ワクチンの場合は、1回目を6月までに接種することで、12月までに接種する2回目も助成の対象とする。

小中学校ICT整備事業 4億4,037万2千円

小・中学校に配備している市内全児童・生徒用のタブレット5,510台の更新等を行う。

問 タブレットの使用頻度は。

答 昨年度にタブレットを活用した授業の改善に取り組み、各校のほとんどの教科で使用されている。また、予習・復習など持ち帰って使用することも推進している。



当初予算総括

問 令和7年度当初予算は骨格予算^(※)とのことであるが、前年度と比較し増加している理由は。

答 一般会計においては、合併特例債の発行が最終年度となるため普通建設事業が増加したこと、また、人件費上昇や物価高騰の影響による物件費の増加などにより、前年度比5.1%増の合併後、最大規模の予算額となった。

問 事業の見直しは行ったのか。

答 財政面も含めて事業見直しを行っている。今後も、事業精査やスクラップ＆ビルド等による事業の縮小に努めながら予算を編成していきたい。

(※)骨格予算…首長選挙などにより政策的な判断が難しい場合に、義務的経費を中心に編成する予算。

TOPIC 4

【議第30号】令和6年度天草市一般会計補正予算（第12号）

物価高騰の影響を受けている市民及び事業者の支援など12億6,566万円の補正予算を計上

予算決算委員会付託

天草エアライン経営安定化事業

1,812万9千円

燃料・物価高騰の影響を受け、経営状況が圧迫している天草エアライン株式会社に対し、経営基盤の維持確保を図るため熊本県及び地元自治体が連携して支援する。

問 令和7年度に向けた経営状況回復への取組は。

答 天草エアライン株式会社の中期経営計画に基づき、県や地元自治体と連携して取り組んでいく。



LPガス使用世帯価格高騰支援事業

1億4,297万3千円

エネルギー・食料品等の物価高騰が進む中、国の新たな追加経済対策に伴い、エネルギー分野において国の支援が行われていないLPガス使用世帯に対して支援を行う。

問 令和5年度の給付世帯数の実績値が目標値と比較して低いが、今後の対応は。

答 給付対象世帯は22,411世帯。令和5年度の制度を利用された世帯は14,745世帯、65.8%であった。今後は事業者に対して周知の徹底を依頼していく。

問 支給のスケジュールは。

答 現時点では、5月中旬頃から申請受付が開始され、審査後、随時給付が行えるよう協議を進めている。



農業者支援物価高騰緊急対策事業

6,290万円

コロナ禍から続いている燃油高騰や物価高騰の影響を受けている農業者に対し、高騰する農業資材費の負担の軽減と営農継続に向けた意欲の向上を図る。

問 国の交付金事業であるが、市の判断で独自事業を実施できるのか。

答 国から示された支援項目の中で、それぞれの自治体が独自に設定できることから、農林水産業の支援メニューに基づき支援を行う。

